

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：医療人材課
 担当名：医師確保対策担当
 内線：6014600 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B24	若手医師キャリア形成支援事業			一般会計	衛生費	医薬費	医薬総務費	医師確保対策費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	埼玉県医師育成奨学金貸与条例			宣言項目	02 健康・医療・介護の安心確保		
						分野施策	020308 医師・看護師確保対策の推進		
1 事業概要	奨学金貸与者等「若手医師」が義務年限を果たしながら専門医等の資格が取得できるよう支援を行い、安心して地域医療に従事できる体制を構築する。 (1) キャリア形成支援プログラム作成事業 事務費の節減及び所要額が見込みを下回ったことによる減額 △3,379千円 (2) 医師派遣・キャリア形成支援部会 事務費の節減 △2千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア キャリア形成支援プログラム作成事業 6,815千円 特定地域での医療を経験しながら、義務年限内で専門医が取得できる独自のモデルプログラムを作成する。 イ 医師派遣・キャリア形成支援部会 1,020千円 モデルプログラムの作成方針の検討や新たな専門医制度を見据えたキャリア形成支援と奨学金貸与者に係る「医師派遣計画」策定の実質的な作業を行う医師派遣・キャリア形成支援部会を設置する。 ウ キャリアコーディネーター設置事業 875千円 医師のキャリア形成に精通したキャリアコーディネーターを設置し、モデルプログラム作成医療機関や医学生・若手医師に対しての助言・支援を行う。 (2) 事業計画 平成30年度 基本領域19診療科ごとのモデルプログラムの作成 平成31年度 モデルプログラムをベースとした奨学金貸与者向けのキャリア形成支援プログラムの更なる充実 平成32年度以降 キャリア形成支援プログラムに基づくキャリア相談と医師派遣計画の策定 (3) 事業効果 奨学金により確保した医師が義務年限を果たしながら専門医資格を取得できる受け皿医療機関の確保と支援体制の整備により、奨学金貸与者のドロップアウトを防止するとともに、義務年限後も県内で定着・活躍できる体制を構築することができる。 (4) 補正予算の概要 事務費の節減に伴う減額、所要額が当初の見込みを下回ったことによる減額					
2 事業主体及び負担区分	(1)～(3) (県10/10)								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×2人=19,000千円								
予算額				財源内訳				一般財源	補正後の予算額
決定額	△3,381							△3,381	5,329
現計額	8,710							8,710	